

発行 株式会社ラベルバンク
大阪市淀川区西中島 5-12-8
新大阪ローズビル 6F
https://www.label-bank.co.jp/
customer@label-bank.co.jp

ラベルバンク新聞 第 179 号

“分かりにくい食品表示を分かりやすく”
Making food labeling accessible for everyone.



日本版「包装前面栄養表示」の検討が始まりました

2023年10月26日、消費者庁は日本版「包装前面栄養表示」の基本的な方向性を検討すると公表しました。今回は、11月2日に開催された「第1回分かりやすい栄養成分表示の取組に関する検討会」（以下「検討会」）で公表された資料等をもとに、現在検討されている「包装前面栄養表示」について整理してみたいと思います。

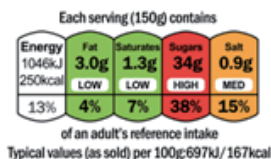
検討の背景

諸外国では各国の健康・栄養政策を踏まえ、消費者が食品の栄養価や食品の選択に対する理解を高めるため、義務的表示に加え、包装の前面に栄養表示に関して分かりやすく消費者に訴求する「包装前面栄養表示」を導入しています。また令和3年11月のコーデックス委員会においても、包装前面栄養表示のガイドラインが採択されています。こうした状況を受け、国際整合性の観点から、国際機関が公表するガイドラインの内容を踏まえつつ、日本版の包装前面栄養表示

の在り方について、検討が開始されています。なお検討にあたり、「表示の見にくさや分かりづらさを補足する取組み」という観点が方向性として示されています。

包装前面栄養表示とは

諸外国の「容器包装前面栄養表示（Front of Pack Nutrition Labeling：FOPNL）」については、検討会資料「[資料2】栄養成分表示制度をめぐる事情について](#)」に事例が掲載されています。図はオーストラリア連邦、フランス共和国、英国の例（任意表示）です。



なおカナダでは2022年7月に、飽和脂肪酸、ナトリウム、糖類の全て、もしくはいずれかを一定の閾値以上含む全ての食品にFOPNLが義務化され、話題となりました。（『義務化された容器包装前面表示の重要なポイント（カナダ）』）

WHOおよびコーデックス委員会のガイドライン

同検討会資料（資料2）にガイドラインの主な内容が整理されています。例えば「FOPNLの効果を高めるように、単一の取組を開発すべきである。（WHO）」、「

各国で政府が推奨するFOPNLは1つだけであるべきである。（コーデックス委員会）」、「FOPNLの一部として、モニタリングや評価する仕組みについても開発すべきである。（WHO）」といった内容です。なおコーデックス委員会のガイドラインについては、検討会資料「[参考資料】コーデックス委員会における包装前面栄養表示ガイドライン](#)」より詳細を確認することができます。

今後の予定について

検討会では「[資料4 分かりやすい栄養成分表示の取組の推進に向けた検討の方向性及び主な論点（案）](#)」において、主な論点を以下のとおりとしています。

- ・我が国の健康・栄養政策との整合を踏まえた上で、包装前面栄養表示として取り組むべき栄養課題
- ・消費者が普段の食生活において栄養成分表示が利活用しやすくするために効果的な方策
- ・消費者のための取組であることを優先しつつも、「健康的で持続可能な食環境づくり」の推進の観点から食品関連事業者の実行可能性が担保される方策

今後検討会において、今年度中に基本的な方向が示される予定です。すべての食品に関わる改正になると思いますので、公表された資料に一度目を通しておかれるとよいと思います。

（川合）

Label bank



食品表示調査サービス

配合表、製品規格書等をもとに、原材料名や栄養成分等の表示案との適合性を検証します。



この記事はウェブでお読みいただけます。

下記のQRコードをスキャンしてアクセスください。



ミニコラム

食品表示作成とチェック業務について

先日、「食品表示基準と実務上の大切なポイント」と題した外部講演にて、食品表示基準全体の概要（基準、通知、ガイドライン等）や構造（横断的、個別的等）について把握することの大切さをお伝えしました。その際に、「知らなくてもなんとなくできてしまう」業務の難しさについて触れましたが、この場を借りてもう少しお伝えしたいと思います。以下に、先日発売された「**新訂2版 基礎からわかる食品表示の法律・実務ガイドブック**」より関連する部分を引用いたします。

『予定されている商品パッケージや販売方法を知らなくても、食品表示の作成自体はできてしまう』（第3部第1章）

“ここで初めてパッケージデザイン案に書いてある商品特徴の表示「こだわりの〇〇県産原料使用！〇〇の栄養が豊富で、天然志向だから美容にいい！」を見て、びっくりして社長に進言することになるでしょう。原材料を変更するか、パッケージデザインの商品特徴の表示を変更するか、どちらかを検討する必要があると。「販売日も目前に迫っているこの状況で今さら」と社長は怒るかもしれません。しかし怒られること以上に困るのは、ここで社長が決断を誤る可能性があることです。社長の誤った決断とは、「今さら原材料もパッケージデザインも修正できないからそのまま販売してしまう」ということです。そしてあなたにとっての誤った決断があるとすれば、その可能性に気付きながら何もしないことではないでしょうか。”

『チェックのほうが難しい』（第3部第2章）

“作成は1つ1つの事実を積み上げていく作業であるのに対し、チェックとは1つ1つの要素に分解していく作業に似ています。作成の仕事は作業者が意思決定を積み上げることであるのに対し、チェックは少し異なってきます。チェックとは、自分が作成していない食品表示を確認することですので、その食品表示がどのような意図をもって積み上げられたのかといった経緯までは持ち合わせていません。そこで、作成者の意図について仮説を立てるなど、想像を広げる必要があります。この点で、チェック

作業は、作成よりも難しいといえます。作成は1点を目指して仕事を進めるのに対し、チェックは様々な可能性まで追求する仕事の進め方をしなければならないためです。”

前者の例は、本来は食品表示を作成する前に商品企画の概要を把握しておくことで、事前に強調表示に関する基準や根拠を調べておくことができる、という内容の説明です。実際には様々な事情により、事前に情報が入手できない場合も多く、企画の概要情報がなくてもできてしまうのですが、本来はそうであると考えておくことが大切だと思います。

後者は原則のような話です。作成者の意図を伏せた状態での客観的なチェックが有効な場面は多いですし、また意図に縛られずマニュアルに沿って機械的に確認することも重要ですので、とにかくチェックできてしまうことになるのですが、本来は「チェックは難しいものである」と考えておくことが大切だと思います。

「なんとなくできてしまっていること」は、他の仕事でも同じようなことが言えるかもしれません。リスクがあるなどの面もそうですが、とりわけ言語化や仕組化を必要としないままできてしまっているものについては、組織的な改善の機会が失われているかを考える必要があると思います（言語化や仕組化がされている場合も、定期的な見直しは大切です）。

私も今回の新訂2版の原稿を加筆修正するにあたり、これまでの経験や慣れでできている業務について、しっかり基本から見直していくことが大切だとあらためて思いましたので、講演や本稿で皆様にもお伝えしていきたいと思います。

（川合）

この記事はウェブでお読みいただけます。

右のQRコードをスキャンしてアクセスください。



執筆書籍 好評発売中！



新訂2版 基礎からわかる

食品表示の法律・実務ガイドブック

著者：石川直基 的早剛由
株式会社ラベルバンク

出版社：第一法規株式会社

発刊日：2023年10月19日

価格：4,290円（本体：3,900円）

弊社は、前回に引き続き、第2部と第3部を書かせていただきました。

ご購入はこちらの執筆書籍ページへ

<https://www.label-bank.co.jp/column/book.html>



寄稿のお知らせ



食品と開発

【2023年12月号】特集／健康課題解決に向けた栄養プロファイリングシステムの開発

■海外の栄養プロファイリングシステムと栄養表示制度
(株)ラベルバンク リアヒ イクラム

『食品と開発』（2023年12月号）にて弊社社員が寄稿させていただきました。

詳細はこちらの寄稿ページへ

<https://www.label-bank.co.jp/column/>



今月のお気に入り言葉

蟻の思いも天に届く

（ことわざ）

 Label bank

発行 株式会社ラベルバンク
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-12-8
新大阪ローズビル 6F

毎月1日発行
WEBサイト：
<https://www.label-bank.co.jp/>
お問い合わせ：
customer@label-bank.co.jp
Tel. 03-6260-9540